

6.

0

0

0

0

H-0910

0058

第一輯

(支那視察報告第六號)

昭和十四年八月二十日

北京ノ新聞ニ就テ

外務省文化事業部

本稿ハ外務省在支特別研究員貴族院議員子爵水野勝邦ノ現地報告ナ
ルカ現在北京ニ於テ發行若ハ購讀セラレ居ル新聞ニ關シテ略述セルモノ
ニシテ參考ニ資ス可キモノアリ各位ノ一讀ヲ得ハ幸ナリ
昭和十四年八月二十日

外務省文化事業部

H-0910

0059

目次

- 一、緒言
- 二、概要
- 三、其ノ考察
- 四、北京ノ新聞ノ特殊性
- 五、結語

以上

北京ノ新聞ニツイテ

一、緒言

新中國建設ノ途上ニ於ケル言論機關ハヤヤ變則的ニナリ易イコトハヤムヲ得ナイコトデアアルカ國民外交トシテノ新聞ノ存在ハ絶大ニシテソレタケ新聞内容ノ如何ハ大ナル影響ヲ與ヘルモノデア。支那人ハ勿論在支邦人ニシテ其ノ時局ノ認識ヲ誤リ、探ルヘキ道ニ逆シカ如キコトノ起ルノモ新聞ニ多大ノ責任カアルト考ヘルノデアアル。ココニ現在北京ニ於テ發行サレツツアル各新聞ニシテ最モ大衆ニ關係ノ深イ又普及シテ居ルモノニツイテ私見ヲ述ヘテ見タイ。

二、概要

新聞ノ數ハカナリ多イモノヲ昭和十三年三月ノ北京新聞同業協會ノ會員數ハ三十五トナツテキル。ソノ中ニハ北京支社ヤ通信社カ含マレ又特殊新聞モアリ狹義ノ新聞モアル。ソレ故若シ大衆ノ目

エトマル新聞トシテ選ヘハ十二、三種トナル。コレヲ種類ノ上カ
ラ見ルナラハ

一、華字新聞、普及版、小版、奮報版、特殊機關版

二、日文新聞

三、外字新聞

等テアル。シカシテソノ内容カラ之ヲ見レハ國策ニ從ヒ政府ノ監
督ノモトニ大道ヲ行クモノテ言論ニ於テ主旨ニ於テ今日ハ討争的
ナモノハ存在シナイノテアル。シカシソノ中ニアツテ各新聞ハ各
特色ヲ持チ讀者ヘ呼ビカケテ居ルノテアル。ソレハ政治記事ニハ
見ラレヌ家庭、遊藝書刊等ニ表ハレテ居ル。シカモソノ中ニアツ
テ華字新聞ハ新中國建國ニ盡力シ日本ヲ正シク傳ヘントノ主旨カ
示サレテ居ル。日文新聞ハ事變後ノ邦人ノ北支進出ノ羅針盤ト以
テソノ重大ナル責任トナシ又一方外字新聞ハ第三國ノ言論界ヲ
フテ立ツ等各々意義深キモノカ存在シテ居ル。

此等ノ新聞紙カ讀者ニ定閱ニヨツテ配達サレルノテアルカソノ他
街路門口ニ於ケル準固定販賣法ト我國ノ號外ノ如ク呼賣スルモノ
看報牌ニ於テ立讀サセルコト等カアル。新聞社カ街路看報處ヲ設
ケ公衆ニ贈マセルコト種ノ方法ハ効果カ大キイ、特ニ北京ニ於ケ
ル新民報天津ニ於ケル庸報ハ其ノ數少クナイ。又公立ノ簡易閱報
處ヲ設ケ無料ニテ閱報カ出來ルヤウニナツテ居ル。尙送報的ノ不
確實ヲ嫌フモノハ市内郵便ヲ利用シテ居ルモノモアル。夕刊ノ如
キ時間的不正確カアリ朝刊ト共ニ配達シテ居ル處モアリ、日本人
間ニハ評判ハヨクナイ。

次ニ北京ニ於テ最モ容易ニ見ラレル十一種ノ新聞ニツイテソノ紙
面ト内容ヲ列擧ヲ列擧スレハ

(一) 北京新聞(日文)

社址 東城官帽胡同十七號 西城支局アリ

發行人 風間章 朝夕刊各五錢 一ヶ月一圓三十錢

朝刊六頁 夕刊四頁普通形一段十五詰九十三行十四段組

第一面 全面廣告

第二面 記事八段 外國通信ヲ主トス 廣告六段

第三面 記事九段 經濟記事

第四面 全面廣告 主トシテ遊藝娛樂

第五面 記事十段餘

第六面 全面廣告 三十七件ノ中飲食店 二七

飲食物 六

其ノ他 四

(夕刊ハ略ス)

(二)新支那日日新聞 日文普通形

社址東蕪門外南 道十五號

發行人 黒根祥作 朝刊六錢 夕刊三錢 一ヶ月一圓三十錢

朝刊六頁 夕刊四頁 九ボ 十四段組

4

第一面 全面廣告

第二面 記事 十段 内外重要記事

第三面 記事 十段

第四面 小説 二段 廣告十二段

第五面 記事 七段 經濟記事及ヒ贈物

第六面 小説 三段 贈物 廣告

(夕刊ハ略ス)

(三)新民報 華文普通形

社址西長安街 朝刊四錢 夕刊二錢 一ヶ月一圓

發行人 武田南陽 十三段組

朝刊八頁 夕刊四頁

第一面 十段 主要記事

第二面 經濟記事 下半頁ハ廣告 主トシテ本報特報

第三面 政治記事 社論 教育界記事

5

第四面 全面廣告
 第五面 讀物
 第六面 地方通信 遊藝廣告
 第七面 北京市內版
 第八面 京劇讀物、文學 (以上朝刊)

第一面 重要記事 讀物
 第二面 北京市內版
 第三面 讀物
 第四面 小說、讀物

(四)實報 小報華文 一日六面 一ヶ月三十錢

社址宣武門大街五六號
 發行人 胡通海 民國十七年創立
 第一面 小實報 讀物 劇事

第二面 小實報 讀物 劇事
 第三面 小說 (北京明星) 經文學
 第四面 小雅、讀物、小說 (武俠小說聯記) 小廣告
 第五面 讀物 社會小說 (六審中花) 小廣告
 第六面 社會記事 小廣告

(五)實事白話遊藝報 (原名實事白話報)

社址宣武門外魏染胡同四三號
 發行人 載蘭生 民國七年創立
 一部六面 一部一錢五厘 一ヶ月四十錢 小報形華文

第一面 政治記事 小廣告遊藝
 第二面 家庭版
 第三面 藝文 遊藝廣告
 第四面 劇版

第五面 文藝版
第六面 小說版

(六) 時言報 小報形華文

社址宣武門外鐵老鶴廟六號

民國八年創刊 每日四面 一部銅元六枚 一ヶ月四十錢

第一面 政治記事

第二面及第三面 文藝小說

一、武俠小說 (琥珀月光盃)

二、干公案 (評書譚演)

三、評書小說 (明英烈)

四、評書小說 (干公案)

五、言情小說 (情海微波)

六、評書小說 (水慶昇平)

8

七、評書小說 (安良傳)
八、評書小說 (百鳥朝鳳)
第四面 社會記事 遊藝廣告

(七) 北京益世報 小報形華文

社址 南新華街

發行人 張濬如 民國五年創刊

一部十二面 一部銅元十二枚 一ヶ月六十錢

第一面 廣告

第二面 政治記事

第三面 政治記事 遊藝廣告

第四面 廣告 小說 (摩登女郎)

第五面 文藝

第六面 小說 (殘蓮) 廣告

9

H-0910

0054

- 第七面 小説（珠還）廣告
- 第八面 遊藝記事
- 第九面 全面廣告（主トシテ遊藝）
- 第十面 市内報 ラジオ節目
- 第十一面 評書小説（明清奇俠傳）遊藝廣告
- 第十二面 京劇廣告

（ハ）新北京 小報形華文

社址宣武門外大街二一四號

發行人 謝子夷 民國二十年十月創刊

一部銅元六枚 一部六面 一ヶ月四十錢

- 第一面 政治記事 小廣告
- 第二面 文藝版 武俠小説（青城十九俠）
社會小説（庶人多福）
小廣告

- 第三面 週刊版 新文藝及小廣告
- 第四面 劇版 小廣告 小説（黑客傳）
- 第五面 家庭版 言情小説（風求鳳）
- 第六面 社會版 小廣告

（カ）晨報 普通形華文

社址宣武門外大街一八一號

發行人 宋介 民國十九年創刊 一部四錢 一ヶ月一元

- 第一面 廣告
- 第二面 社言 政治記事
- 第三面 內外重要記事
- 第四面 全面廣告
- 第五面 教育體育 半面ハ廣告
- 第六面 社會記事 小廣告
- 第七面 地方通信 經濟記事

- 第八面 戲劇
- 第九面 副刊讀物
- 第十面 遊藝 社會小説(陌頭柳色)

(付)武德報 小報形旬刊

北京臨時政府治安部刊 一部二錢 一ヶ年五十錢

社址王府井大街

- 第一面 政治記事 社論
- 第二面 國際動態
- 第三面 國際動態、社會小説(金枝玉葉)
- 第四面 讀物 日語講座
- 第五面 時事畫刊 讀物 軍事日誌
武俠小説(雍涼異人傳)
- 第六面 軍事讀物、警世小説(軍閥鏡)

第七面 讀物 社會小説(菩薩蠻)

(出)時事日報 普通形英文

Peking Chronicle.

社址東城煤 胡同二號

發行人 王退之

三、其ノ考察

北京ニ本社ヲ有スル新聞ノ重ナルモノノ内容ハ前節ノ如キモノデア
ルカ、コレ等ヲ通觀スルニ何レモ特色ヲ以テ讀者ニ臨ンテ居ルコト
當然ノコトナレトモ、中ニモ政府ノ機關紙トシテ有力視サレテ居ル
モノハ新民報テアル。世界ノ情勢日支間ノ問題ノ重要時局ニ處スル
最モ意義深キ存在トシテ自ラ通信、言論界ニ臨ンテ居ルモノテアル
カ漢字新聞トシテ現在ノモノハ余リニ日本色カ見ラレ過キルコトト

記事ニ柔カミカ缺ケテ居ルコトヲイハネハナラナイ。支那人ハ日本
 人ノ出ス通信ヲ以テノミ満足シナイノアルニ拘ラス第一面ノ記事
 ノ如キハ十四記事中同盟通信カ十一、新民報三、又第三面ニ於ケ
 ル十九記事中同盟通信カ十五掲載サレテ居ル。(十二月二十日付
 朝刊)イハバ同盟通信ヲ支那人ニ譲マセルコトヲ主トシテ居ルモ
 ノノ如クニ見エル。色々内的關係カアルコトテハアルカ記事ノ劈
 頭ニ「同盟」ト記スルコトカ支那人譯者ニ如何ニ反映スルカヲ氣
 遣フモノテアル。少クトモ外面ハ支那色ヲ以テシ一層効果ヲ擧ケ
 タイノテアル。

又贈物記事ノ如キハ記念講演速記ヤ會合ノ祝辭等ヲ全文載セテ居
 ルノモ柔味カ缺ケル原因ヲナス。又日本ノ紹介ノ贈物ナトモ彼等
 ニトツテハ教科書ヲ讀ム様ニ感シ興味ヲ非常ニ減シサセハシマイ
 カ即チ讀者ヲ引キ付ケル力カ乏シクナル。言論ノ使命カ充分テナ
 イコトトナル。更ニ言ヲ換ヘレハ比較的學問ノ進ンテ居ナイ彼等

ノ間ニ於ケル宣傳力ヲ鈍ラスモノテアル。第五面ニハ「カット」
 ニ天地明朗ト記シ全面贈物テアル、ソノ題ヲ拾ヘハ(十二月二十
 日付朝刊)

國際動向ヨリ天地明朗ニ論及ス

懷龔筆記

戲劇改進集

東山草堂隨筆

造像(隨筆)

薩滿ト神(隨筆)

宋代詞客簡誌(文藝研究)

詩

回頭是峯(小説)

丙午東遊日記

麥ト兵隊

古典零屑

等テアル。又第八面ハ「明珠」ナル「カット」ヲ入レ京劇ノ記事及

通信ヲ載セ文學トシテハ

散文、創作、通信、笑話、小説（風大家入）詩、錦繡前程、ラジオ節目

カ出テ居ル。コノ第八面ハ新民報ノ大キイ魅力カアラウカ、何レモ深味カナイ。又夕刊ハ三小説（儒俠傳、大千留線曲線人生）ヲ以テ讀者ニ臨シテ居ル。其ノ他特色トシテハ隨時半頁ヲ占メル「グラフ」カアルガ宣傳上手ナ支那トシテハ尙見劣ルモノテアル。コノ種ノ「グラフ」ノ一層ノ發展ハ期待シ得ラレルモノト考ヘラレル。報道寫眞ニ至ツテハ全ク無價值テアツテ新聞「ニュース」寫眞ハ新民報ニ限ラス北京ノ各新聞共通ノ缺點テアル。重要記事ヲ見ルニ同盟記事ヲ轉載排列シタダ事件ヲ事件トシテ取扱ヒ臨時政府ノ行政ヲ行政トシテ記シテ居ルニ過キナイ。少クトモ新聞ハ目下日支間ノ復雜ナル時ニ於テ其ノ進ムヘキ道ヲ國民ニ指導スヘキテアル。國民政府ヤ日本ノ仕事、兵火ノ問題ヲ如何ニ支那民衆

ニ説明シ、傳ヘルヘキカヲ研究記載シナケレハナラナイ。ソレ等ノ點ハ極メテ平々凡々タルモノテ見ルヘキ苦心ハ拂ハレテ居ラナイ。此ノ點ニツイテハ邦字新聞モ亦同様ナコトカイヘルノテアル。日文新聞トシテハ新支那日日新聞、北京新聞ノ二種テアルカ記事掲載ハ新民報ト同様テ同盟通信社ノモノノ轉載羅列ニ過キナイトイツテモ過言テハナイ。一月十九日ノ北京新聞ヲ例トスルナラハ第五回ノ重要記事十五回ノ中十五項ノ中同盟九、北京記事四、地方記事一、諷物一ツテアル。一月十九日ノ新支那日日新聞ハ第三面ノ十九項中十八ハ同盟通信記事テアル。第三面十項中五ハ同盟通信記事ノ轉載テアル。事後後ノ邦人ノ北京進出ノ重大意義トソノ重要ナル言論機關タルノ本分ヲ此等ノ新聞中ヨリ見出スコトハ出來ナイ。國際間ノ新聞トシテ又日本ニ取ツテ目下最モ大切ナル大陸問題ノ現地ニ在ル新聞トシテノ良心ハ極メテ小サイ。北京ノ日文新聞ハ會テ邦人カ國民政府ニ壓迫セラレ又抗日排日ニナヤ

メル時代ニ僅カ一千名ニ滿タナイ居留民ヲ目標トシテ苦心ソノ任ニアタツテ居タコトニ對シテハ同情スヘク又感謝スヘキテアルカ急轉シタ今日ハソレヲ以テ許スコトハ出來マイ。廣告主ナトカ、色々新聞社カラ不義理ヲサレテ居ルトイフコトハ獨リ新聞社ニツイテ、カナシムヘキ問題テハナク、若シ大陸國策ニ沿フコトノ出來ナイモノトナルナラハ國家的ニコレヲ考ヘナケレハナラナイ。カクシテ新シキ言論界ニ進ム途ヲ別ニ計ラナケレハナラナイ。北支討伐狀況ナル記事カ北京新聞第二面ノ外國ノ記事中心ニ記サレテ居タカ、コレハ一見記事面ノ穴ウメニ使用シタカノ感カアル。討伐ノ狀況ヲ大キク報道スルコトカ出來ナイニシテモ記事ヲ大切ニ取扱フ方法ハイクラテモアル。外國記事中心ニ小サク出シテ居ル、ソノ方針カ理解ニ苦シムモノテアル。此ノ如キ狀況ニアルコトカ邦人ニヨリ色々ト非難サレテキルコトハ責任ノ一斑ハ當然負フヘキモノト考ヘル。居留民カ北京ノ日文新聞ハ「ラジオオニユース」

ノ轉載テアルカ日本人タルカ故ニ購入ノ義理ニアルトサヘイツテキル。ソノ原因ハ何處ニアルカ簡單ニ決メルコトハ出來ナイカ、編輯ノ力量ノ不足ト記者ノ智的活動力ノ不足カ考ヘラレル。北京ニ於ケル記事ヲ内地ノ新聞カラ得ルコトカ少クナイコトヲ見テモ明らかテアル。次ニ小報ハ即チ小形大衆新聞テアツテソノ數ハ少クナク讀者モ大衆ヲ力強ク持ツテ居ル。支那ニ於テ見ル特殊ノ存在トシテ輕視スルコトハ出來ナイ。購費ノ低廉ナルコトハ一份銅元四枚乃至六枚一ヶ月三十錢乃至六十錢ハニヨツテ讀者ヲ得テ居ルコトハ明らかテアル。政治記事ハ要領ヨクワットメ娛樂社會記事小説ニ花ヲ持タセテ居ルノテアル。一部六面ノ實報ニ小説カ三種、時言報ニハ八種、新北京ニ四種カ連載サレテ居ル。シカシ小説ノ内容ハ概シテ低級ナモノテアル。小説ノ他小文藝カナリ多ク政治記事ヨリモ、ハルカニ讀者ヲ呼ンテ居ル。ソノ中ニハ種々政治

的問題ヲ入レタモノ社會風評ヲ取り入レタモノナトアリ人氣ヲ集メテ居テソレタケ民衆ノ思想上ヘノ影響ハ大キイモノアリト考ヘル。彼等ハ政治記事ヲ讀ムヨリモコレ等ノ文藝品ヲ讀ンテ居ル。又社會記事モ彼等ニ讀マセルニ適ンテ居ルカ出來ルタケ低級ナル興味ヲ與ヘテヨイ、コレカ小報ノ人氣ノアル所以テアリ小報ノ存在意義カナルノテアル。シカシ現在ヤヤ記事カ向上サレ新聞ノ正シイ意味ノ進歩カ見ラレルカ、ソレタケ大衆ヲ引キツケル力カ弱クナツテ居ルト見ルヘキテアル。娛樂雜誌カ官報トナツテ行クカ如キ感カアル。小報ノ特色ハ此ノ他ニ小廣告ニモ見ラレル。小廣告ハ制限サレタ小紙面ニ出スモノテ廣告料ハ安ク其ノ利用ハ著シイ小報ノ紙面殆ント半分ハコノ小廣告ニナツテ居ル。廣告料ハ四十八字一回三十錢（實報）程度テアル。

支那人ノ遊藝ヲ好ムコトハ非常ナモノテ殆ント北京人ノ京劇ニ對スル趣味ハ絶大テアル。各新聞ハ京劇ノ記事ヲ重要視シ又廣告モ

大々的ニ行ハレテ居ル北京益世報、新北京、實事白話遊藝報ハ實ニソノ代表的ノモノテアル。

武德報ハ臨時政府唯一ノ直屬ノ新聞（旬刊）テアツテ注目サレル記事ハ何レモ武德報特輯記事トナシ一ツモ通信社名ヲ用ヒテ居ラナイ。八字詰十三段ノ小形テアル。印刷モノノ時事畫刊モ美シイ缺點ハ寫真版カ小サ過キル記事モ見ルヘキモノ少クナイカ、ヤヤ地味テアツテ大衆ヘノ宣傳力ハ弱イモノト思ハレル。タタ大衆ヲ目標トシテ武德報戯劇部トイフ四面ノ小報ヲ刊行シ中二面ハ京劇ノ劇單トシテ無料配布ヲナシテ居ル。

四 北京ノ新聞ノ特殊性

北京ニ於テ發行サレル新聞ハ少クトモ二大使命ヲ有スルモノト考ヘラレル。即チ日支ノ時局轉開ニツイテノ支那人側ノ思想的指導使命ト日本及ヒ日本人ノ國策上ノ指導精神ノ發揮トテアル。前者

ニ於テハ正論ヲ以テ臨ム新民報アリ大衆ニ親シマレル小報トカアルカ政治記事ニ就イテ同盟通信カ目並過キテ居テ彼等ハ同盟ノ通信ニ對シテハ興味ヲ感セス、スクナクトモ支那ハ支那人ノ手ニヨル記事ヲ以テスルコトヲ希望シテ居ルノテアル。支那人ハ政府ノ機關新聞ナルカ故ニ購讀スルノテハナク編輯人人物ニ對スル興味カラソノ新聞ヲ讀ムノテアル。編輯人日本人テアリ通信記事カ同盟通信ト明記サレテハ支那人間ニ伍シテ大キナ存在トナリ得ナイノテアル。タトヘ如何ニ其ノ記事カ正シク公平テアラウトモ同盟ト記サレル爲メ力カ薄ラクコトハ残念ナ次第テアル。須ラク一日モ早ク支那ノ通信社ノ名ニ於テナサレ効果アラシメタイ。文藝シテ小説カ經視スルコトノ出來ナイ存在テアリ遊藝トシテ京劇トハ思想指導ノ上ニ利用サルヘキモノテアル。報導寫眞ハ會テ國民政府カ排日抗日ノ思想宣傳ニカナリ有効ニ利用シタコトヲ考ヘテモ一層研究努力ノ必要カアル。眼ヨリ時局ヲ知ラシメルヘキ方法ハ有意

義ト思フ。コレ等ノ點ニツイテヤヤ日本ニ盲從セルカノ如キ感カアリ思想ノ善導ノ效果ヲ求メルニハ充分テナイ。
 次ニ邦人間ニ於ケル新聞ノ現状ハコレ亦力弱キ感カアリ渾沌タル北支ノ思想ヲ正シク明ラカニ指導スルト共ニ日本ノ國ヲ効果ヲ助長シナケレハナラナイ。新聞カ如何ニ社會ニ惡影響ヲ與ヘルカ又思想善導ヲナシ得ルカソノ力ハ論ヲ待タナイ。今日邦人カ新聞ニ對シテ満足シテ居ナイコトハ憂フヘキコトナノテアル。ソノ結果トシテココニ注目スヘキコトハ他方ノ新聞ノ北京進出ノ目サマシキコトテアル。現今北京ニ於テ容易ニ見ラレル新聞トシテハ

一 蒙疆新聞

二 京津日日新聞

三 天津日報

四 滿洲日日新聞

五 大阪朝日新聞



- 六 東京朝日新聞
- 七 大阪毎日新聞
- 八 東京日日新聞
- 九 讀賣新聞

等テアツテ、天津ノ新聞ハ日本租界カアリ商業都市トシテノ背景ヲ有シテ内容モアリ活力ハ自然新聞紙ニモ表ハレテ北京ニ比シテ整ツテ居ル。時折北京人カ天津ノ新聞ニ教ヘラレルコトカアルカ未タ全体的ノ力メナイノハ過去ノ天津ヲ頭ニ入レテ考ル爲メデアツテコノ點遺憾テアル。東京ノ新聞ハ内容ニ於テ當然北京ニ於テ大キナカヲ示シテ居ルカ輸送關係テ日數(約五日)ヲ要スルコトカ新聞元來ノ使命トシテヤヤヒケヲ取ツテ居ルノハヤムヲ得ナイコレニ對シテ大阪ノ新聞ハ日付ニ於テハ二日後レテアル。記事モ北京ノ特報等非常ニ興味ヲ感シテ見テ居ル。臨時政府ノ問題要人ノ行動ハ内地ノ新聞テ知ツタトイフコトカ少クナイ。最近ノ例テ

ハ吳佩孚ノ和平救國運動ノ如キ北京ノ新聞ハ同盟通信ノ記事ヲ以テ事足レリトセルカ内地ノ新聞ハ色々コレニ關係アル記事ヲ載セ吳將軍ヲ説明シテ居ル。コレハ在北京ノ内地ヨリノ特派員ノ手腕ト見ルコトカ出來ル。滿洲ヨリ來ル滿洲日日新聞ハ記事ノ優レテ居ルコトハムシロ驚クヘキモノデアツテ、ソノ上日付ニ一日後レテ見ラレル。北京ニ於ケル讀者數ハ非常ニ多イト思フ。現在ハコノ新聞カ北京人ノ讀ム新聞トサヘイハレテ居ル。次ニ張家口ニ於テ發刊サレタル蒙疆新聞ハ極メテソノ歴史ハ新シイカ滿洲國系ノ新聞テシカモ新シイ時局ノ要求ノモトニ創刊サレタル爲メヨク整ヒ或ハコレカ北支ニ君臨スルノテハナイカト思ハレル。第一面ニ社説ヲ掲ケ(北京日文新聞ハ社説カナイ)世界ノ動キト時局ノ記事ヲ載セ第二面ハヤヤ雜然トシテ居ルカ第三面ハ北支朝鮮ヲ含ム經濟記事第四面ハ文藝欄ヲ殊ニ支那ニ關係アルモノヲ出シテ居ル。第五面ハ晉綏版トサン地方記事ヲ讀物体ニ記シテ居ル。

第七面ヲ北支特ニ北京ヲ主体トシタ記事ヲ出シテ居ル。ソノ特色トスル所ハ通信ハ全部蒙通トナツテ居ルコトト北京ヲ中心トシテ北支ノ時局ヲ掌握セントスル記事ノ出シ方カ見ラレルコトテアル尙コノ他華文蒙疆新報カ刊行サレ北京ノ街路上ニテ見ルコトカ出來ル程進出シテ居ル。

外字新聞ニツイテハ言論界ニ統一化サレテ居ル北支ニ於テ天津外國租界發行ノ新聞カ堂々ト販賣サレテ一般ニハ見ラレライコトカコレ等ニヨリ容易ニ知ラレルコトハ甚タ奇怪ニ思フ。日文華文ニ未發表ノモノカ外國電報トシテ示サレテ居ル。ソレカ外電ニヨルニセヨ支那人ノ見地カラスレハ見逃セナイコトナノテアル。

五結 論

之ヲ要スルニ現在北京ニ於ケル新聞ハスヘテ變則的存在テアツテ華文紙ハ重要政治記事ヲ日本色トシ支那人ノ興味ヲ減シ支那人ニ對シテノ言論機關トシテノ存在價值ヲ減シテシマツテ居ル。支那

人ノ支那新聞トシテ正シキ時局ニ對スル指導機關タリ得ルモノヲ作ラネハナラナイ。又日文新聞ニ於テハ北京ノ新聞カヤカテハ北支ノ新聞トシテ臨時政府ノ發展ト共ニ進ンテ行クヘキモノテアルカソノ内容ニ於テ編輯ニ於テオモシク同盟通信ニタヨリ過キタリ邦人間ノ軋轢ヲ助成スルカ如キ結果トナル處ノ記事ヤ邦人ノ缺點ヲ宣傳スルカ如キ結果トナル記事カアルコトハ誤レルノ甚シキモノトイフヘキテアル。内地ノ新聞カ過去ニ於テ社會ヲ毒セル新聞ナリトノ誇リヲ大陸ニモアテハメ唱ヘラレル様テハ遺憾ノ極ミテアル。一方ニ於テ北京ノ新聞ハ戰時體制ノモトニ於ケル言論機關トシテソレソレノ方面ノ嚴重ナル監督ノモトニアルコトモ考ヘネハナラナイ。ソレカ如何ナルモノテアルカ知り得ナイカ、一層ノ密接ナル關係ニアルコトヲ望ムモノテアツテ第一ノ中心ハ在支經驗ノ多キモノヲ以テスルコトト思フ。イヤシクモ日本臣民トシテ其ノ本分ニ違フモノハ無イ筈テアル。當局トヨキ聯絡ヲ以テ正

トスルシ又ソノ實現ヲ希望シテヤマナイ。

(昭和十四年二月十一日)

シキ言論機關ヲ構成シテ行キタイ。某紙ニ「洋車ノ二人乗」トテラ「カケノ外出等取締嚴重ニナル」ノ記事ノ如キ日本人ノ國際關係ノ間ニアルヨキ指示トイヘナイ、取締カ嚴重ニナツタト報道スルテナク日本ノ國策ヲ知ラシメ日本人ノ行ク途ヲ示スモノトシテノ記事テアツテホシイ。言ヲ換ヘテイヘハ未タ内地ニ於ケル場合ト國際都市ニ於ケル場合ト報道精神ニ相異アルコトカ判然シテ居ナイノテアル。

要ハ新聞社ノ能力ト記者ノ素質ノ問題ニ歸スルカ世界政策ノ途上ニアリ、シカモソノ一現地ニ存在スルコトヲ忘却シタ小サキ考ヘノモトニ行ハレテ居ルノテハナカラウカ、事變勃發第二年目ニ臨シテ居ルコトヲ思ヘハ既ニ事變キヲ感セサルヲ得ナイ。ココニ須クソノ弊ヲ匡正シ時局ニ達觀セル確固タル國家觀念ニ基ク全北支ノ爲メ新秩序建設ノ爲メ第一戰ニ臨ムニ足ル意義アル新聞ヲ必要